

利根町内にも**ナガエツルノゲイトウ**（特定外来生物※）

が発生しています。農地への侵入・定着を防ぎましょう

※外来生物法で指定された、生態系や農林水産業に被害を及ぼす海外期限の生物。栽培・移動等は許可が必要。

ナガエツルノゲイトウ（ヒユ科）

学名： *Alternanthera philoxeroides* 長柄蔓野鶏頭

- ・南米原産の多年草（国内の系統は種子をつけない）。
- ・水草で河川や池で大群落となり、水面をマット状に覆う。
- ・茎は千切れやすく、節や根から活発に再生。拡散しやすい。
- ・水陸両生なので、畔や畑地にも侵入。耐塩性も高い。
- ・関東以西の河川、水路、水田、畦畔などに侵入相次ぐ。



繁殖力
大



侵略性
大



夏～秋に細い柄の先に
球状の白い花をつける



再生力
大



↑茎断片から萌芽
根断片から再生→

～ナガエツルノゲイトウの防除とまん延の防ぎ方～

もし農地周辺でナガエツルノゲイトウが見つかったら??（具体的な防除・対策例）

◎水田内

- ・水稲用除草剤（初期剤や初中期剤）の体系処理で防除。特に給水栓回り畔際の防除の徹底。
- ・給水栓口にネット等を取りつけ、かんがい用水路経由での侵入を防止。
*回収したナガエツルノゲイトウは、水気をきり、ゴミ袋に入れ、固く口を結び、焼却処分する。

◎畦畔

- ・刈り払い機を使用せず、除草剤中心の管理。
- *茎葉処理剤の効果的な散布時期は9月以降～降霜期までの期間

ナガエツルノゲイトウの侵入が確認された農地がある場合は、**泥落としなどの農機洗浄の徹底や、未侵入の内の作業を先に行う。**

農業被害の例



農地への侵入経路と拡散様式

